

※この「わかば」はすべて自己負担にて発行しており、政務活動費は一切使用していません。

裾野市議会では、政務活動費は会派に対して交付されるもので、議員の個人活動には充当できない規則となっております。



裾野市議会議員

か も ひろ み
賀茂 博美

活動報告 わかば

No. 30

2017.12

裾野市伊豆島田 230-4
TEL・FAX: 993-1876

《 ご挨拶 》 ご要望、ご相談、ご意見等ありましたら、お気軽にお声掛けください！

今年も残りわずかとなりました。一年が過ぎるのは早いものですね。今年も多くの皆様方に支えていただきながら、この一年を過ごせたことに心より感謝を申し上げます。

来年は、1月14日告示、21日投開票で裾野市長選挙が行われます。

今回も公益社団法人裾野青年会議所の主催で、1月11日（木）、19時～ 裾野市民文化センター大ホールにて『公開討論会』が行われます。候補者それぞれの考えを聞く機会として、ご来場いただければと思いますので、宜しくお願いいたします。



国庫補助・未竣工における不適切事務処理

12月定例会にて補正予算の追加上程がありました。

主な内容は、国の交付金の返還（3,313万円）、加算金の支払い（286万円）、事業に充当していた市債の繰上げ償還（2,430万円）です。

国からの交付決定を受け、用地買収および建物移転補償を行っていた道路工事において、平成28年末までに事業の完了を目指していたが、補償物件の移転が見込めず、撤去ができない状況にあった。ここで、次年度への繰越し手続きを行うか、県へ対応の相談をすべきであったが、担当課長および担当者は補償費の残金を支払い、平成29年3月末には国からの交付金を受け取り、6月には国へ事業が完了していると報告した。9月に県の完了検査が行われることとなり、担当者が現課長へ物件が撤去されていない事実を報告、発覚した。

その後、国からの交付金の交付決定の取消し、交付金の返還、加算金の支払い、事業のために借り入れた市債の繰上げ償還となりました。今年は官製談合による職員の逮捕、工事費の未払い発覚と不祥事が相次ぎました。そのため、コンプライアンス推進本部が立ち上がり、職員の意識改善や公務員倫理についての強化が図られた矢先です。もちろん、議会からは厳しい追及を行いました。

今後、市長から地方自治法243条に基づき、職員の賠償責任について監査請求が行われ、監査請求の結果によりますが、損害の範囲において求償されると思われます。また、職員に対しては、原因の追究調査、職員への聞き取り後、処分を確定することのことで、今後、求償範囲および処分内容にも注視していきます。



12月定例会 かも博美の一般質問



平成 27 年の行政組織改編からこれまでの評価を伺う。

Q1. 上下水道に関する事務を環境市民部へ組入れ、事務を行ってきた評価は？

A1. 上下水道相互で設計、工事の管理監督、研修等に対応できる体制であり、少ない技師で効率的な経営に貢献している。

Q2. 地区振興事務を環境市民部の市民課へ、市民協働事務を教育部の生涯学習課へ分割した行政事務運営の評価は？

A2. 市民協働は、地区にとらわれることなく、幅広く推進する必要があり、みんなで課題解決する手法が広まりつつある。



次期市長選に向けた市長の政策方針を伺う。



Q. ①定住・移住人口増加への取り組み。②インフラ整備。③裾野駅西地区画整理事業。④子育て支援。⑤高齢者施策への取り組み。にどのように取り組む考えか？

A. 人口ビジョンよりも速いスピードで人口減少が進行していることは危機感を持っている。まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施を加速化させ、定住・移住人口増加策に、これまで以上にスピード感を持って取り組んでいく。まずは民間活力と連携をした住宅供給の促進や裾野駅西地区画整理事業の着実な推進、公園、緑地など、快適な住環境の創出などを進める。また、子育て施設の充実により待機児童ゼロの継続。子供医療費助成の拡充。新学習指導要領への支援を展開し、結婚、出産、子育てを行う市民の希望に答える。また、地域包括ケアシステムの確立に向け、高齢者に関連する各種団体のネットワークの強化を図る。さらに、企業立地の維持、新企業の誘致、新産業の創出のほか、基盤となるインフラ整備は、厳しい財政状況でも必要な箇所は積極的に整備を図るなど、費用対効果を勘案しながらも進捗させる。



裾野駅西地区画整理事業の今後の方針を伺う。

Q. 裾野駅西地区画整理事業の事業縮小は可能か？

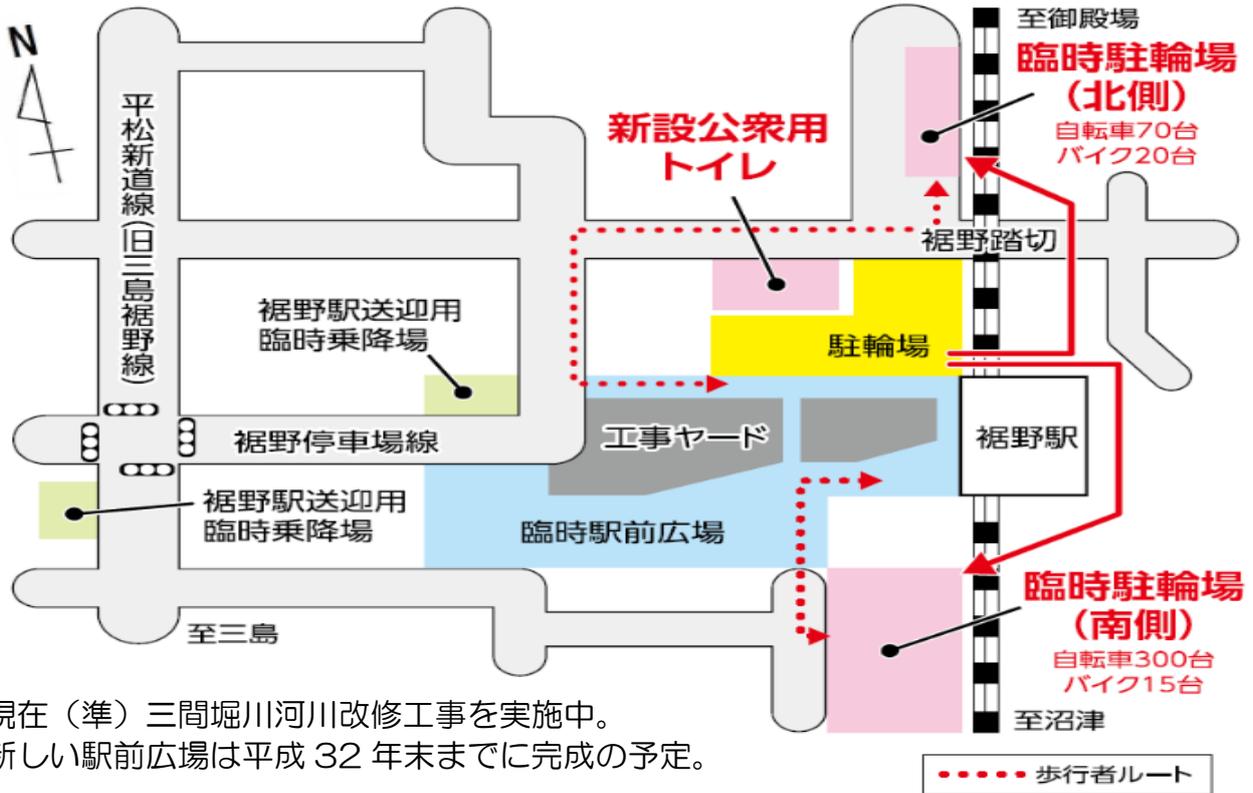
現在変更手続きを進めている第3回事業計画変更により総事業費は220億円。事業費は平成29年度末で約100億円の執行、平成28年度末で完了面積は17%。地権者の一番の願いは早期完了であり、完了予定である平成42年3月に確実に完了するためには、今後、年10億程度の事業費を必要とする。事業費の確保は可能か？

A. 平成41年度完了を目指し、計画変更は考えていない。事業費については、今後、補助金の内示率を上げるように、県、国へお願いをして、補助金をしっかり確保する。補助金が確保できない場合には、ある程度の市費の投入はやむを得ないと考える。



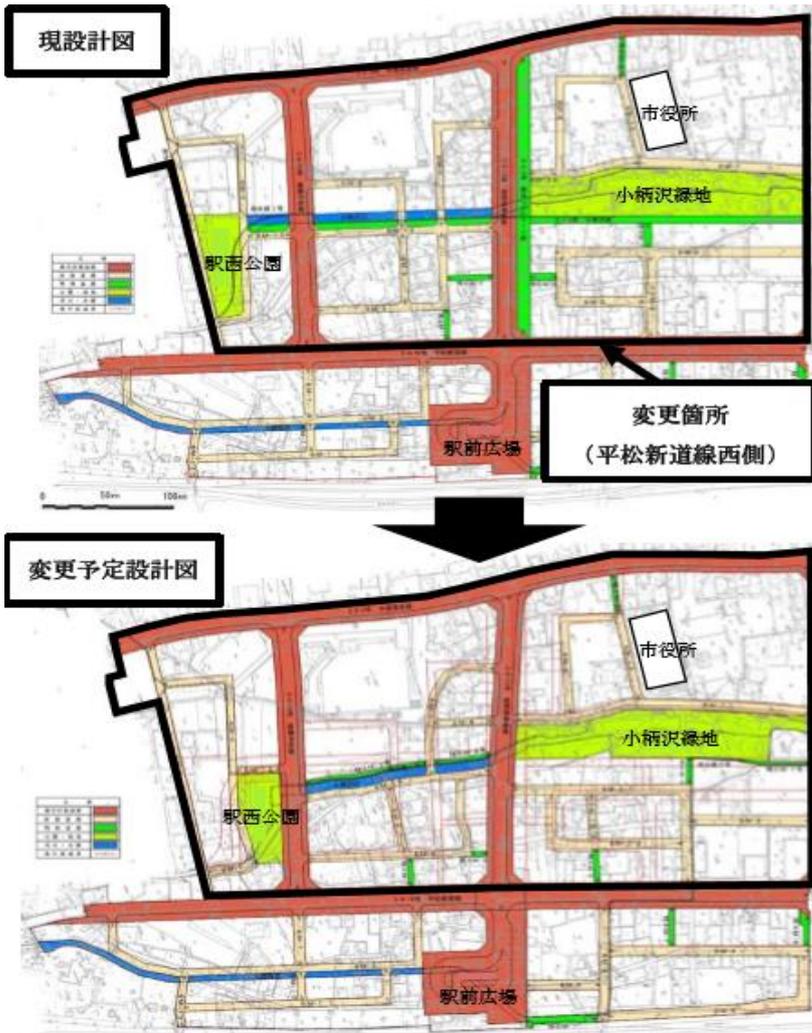
裾野駅西土地区画整理事業の状況

【 裾野駅西口駅前広場の整備状況 】



現在（準）三間堀川河川改修工事を実施中。
新しい駅前広場は平成32年末までに完成の予定。

【 事業計画（第3回変更） 】



≪平松新道線より西側区域の設計図変更≫

- ・ 駅西プロムナード線の廃止
 - ・ 小柄沢線の廃止
 - ・ 道路や河川の線形変更
 - ・ 公園や緑地の配置変更等
- 公共施設面積が約 5000m²減少

※ 計画変更手続きを平成30年度までに完了し、平成31年度より平松新道線西側に着手する。

	第2回変更 (現計画)	第3回変更
施行面積	17.6ha	
施行期間	平成42年3月31日	
総事業費	190.2億円	220億円



裾野市議会ニュース配信中



平成 29 年 12 月 裾野市議会ニュース

裾野市議会ニュースは、議会での審議が皆さんに分かりやすく伝わるようにと、思考錯誤を繰り返しながら、インターネットの YouTube で動画配信しています。

ご覧になりたい方は、『裾野市議会ニュース』で検索してください。また、パソコン操作が苦手な方は、お声かけいただければ、パソコンを持参してお伺いいたします。

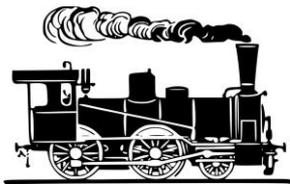
☆ 私の好きな裾野市のこんなところ ☆

裾野市の魅力シリーズ 第 8 弾では、『裾野駅』についてお伝えします。

明治 22 年（1889 年）東海道佐野駅として開業し、当時、御殿場駅と佐野駅（海拔 123.7m）間は、約 15 km で海拔差およそ 330m と大変な急こう配だった。そのため、蒸気機関車や補助機関車の水の供給は重要な課題であり、それを解決するための場所として、現在地が選ばれたとのこと。大正 4 年 7 月に裾野駅に改名。現在の乗車人数は、約 2600 人（静岡県統計年鑑による）。平成 29 年 2 月にバリアフリー化が完了しました。



裾野駅



現在の裾野駅前広場

編集後記

私の議会活動や議員活動のご報告させていただく、この「わかば」の発行も第 30 号となりました。お届けの際に温かいお言葉やご意見をいただき大変感謝いたしております。議員の任期も残り 1 年を切りましたが、これからも裾野市の発展、市民の安心・安全な生活のために活動を続けていきたいと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。良いお年をお迎えください。

裾野市議会議員 賀茂 博美